

令和7年度地域部活動推進事業に係る実証事業報告会及び研修会

実証事業実施における深谷市の状況

深谷市教育委員会学校教育課

【本日の内容】

- I 部活動の地域展開に関する深谷市の考え方
- II 今年度の実証事業(概要)
- III 持続可能な活動に向けて



I 部活動の地域展開に関する深谷市の考え方

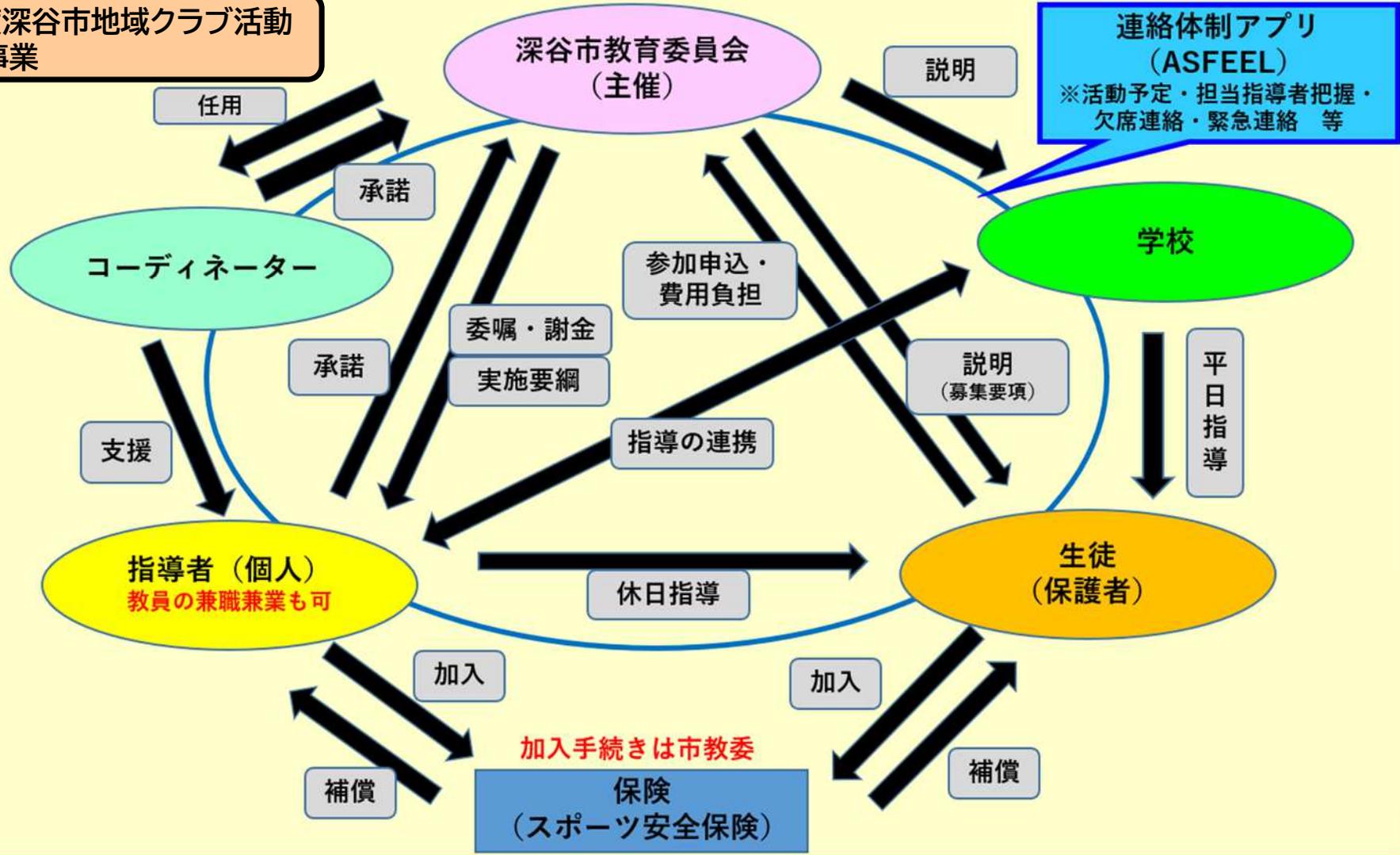
課題



- ☆ 子供たちがやりたい活動に取り組める環境づくり
- ☆ 休日は、指導したい先生が指導できる体制づくり
- ☆ 平日は、先生たちの負担を軽減させる体制づくり

Ⅱ 今年度の実証事業(概要)

令和7年度深谷市地域クラブ活動
体制整備事業



Ⅱ 今年度の実証事業(概要)

パターン1 : 総合型地域スポーツクラブの指導者が指導

ラグビー



- ・ 団体保有の全面芝の環境で練習
- ・ クラブチームの生徒と一緒に練習



男女ソフトテニス(A校)



- ・ 顧問も兼業で指導
- ・ 8名の指導者がいるため、男女で活動場所が異なっても対応可能

Ⅱ 今年度の実証事業(概要)

パターン2 : 地域のスポーツ団体(スポーツ少年団等)の指導者が指導

卓球



- ・ 顧問を含め指導者10名がローテーションを組んで指導
- ・ 隣接する公民館の広いスペースを使って練習することもあり(減免可能)

剣道



- ・ 剣友会の指導者が顧問(兼業)とともに指導
- ・ 少人数のため、他校と合同で練習することもあり(当該校は「地域クラブ活動」 相手校は「部活動」)

Ⅱ 今年度の実証事業(概要)

パターン3 : 外部指導者が中心となって指導



バドミントン



- 普段から生徒の練習に関わっている外部指導者が中心になって指導
- 平日の練習とのつながりが容易
- 生徒にとっては環境の変化が少ない

男子ソフトテニス(B校)



- 顧問とともに顧問の教え子が指導
- 卒業生が指導者なので、長期的な指導体制が確立

野球



- 普段から生徒の練習に関わっている外部指導者が中心になって指導
- 平日の練習とのつながりが容易
- 生徒にとっては環境の変化が少ない

Ⅲ 持続可能な活動に向けて

☆ 子供たちがやりたい活動に取り組める環境づくり

☆ 休日は、指導したい先生が指導できる体制づくり

☆ 平日は、先生たちの負担を軽減させる体制づくり

令和10年度新人戦終了後～

学校単位での活動から**拠点校(ブロック)方式での活動**へ

- 深谷市を**東西南北**に区切り、それぞれの**地区に拠点校**を設置
- 基本的に拠点校は4か所となるが、現在の設置校数を踏まえ、2か所(北東・南西)の可能性もあり
- **大会には拠点校部活動で参加** → 「○○中△△部」は無くなる
- 文化部についても、同様の方法でできないか検討

Ⅲ 持続可能な活動に向けて

深谷市立中学校の部活動のあり方が変わります！
～ 学校単位から複数校単位(拠点球方式)へ ～

令和10年 新人戦終了後から

背景 国は、急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させていくためには、これまで学校単位で「部活動」として行われてきた活動を、**地域全体で関係者が連携して支えていく必要がある**という方針を示しています。

深谷市においても、この方針を受け、令和5年に「深谷市地域クラブ活動検討委員会」を設置し、協議を重ねてきた上、今年度は市内7活動において、**実証事業として部活動を地域と連携しながら実施する「深谷市地域クラブ活動」**を実施してきました。その成果と課題を踏まえ、部活動を学校から切り離さず、新たな形で存続させていくことになりました。

実証事業の成果

- 部活動指導に携わる地域の指導者の増加 (R7:42名登録)
- 指導経験が豊富な指導者であるため、生徒がより専門的な知識や技能を学べる機会となっている。
- 【生徒アンケートより】
Q: 地域クラブ活動に満足していますか。

部活動及び地域クラブ活動に関するアンケート調査より

令和7年10月に部活動の地域展開に関して、具体的な検討を進めるために、市立小(5・6年)・中学生及びその保護者を対象にアンケートを実施しました。

Q: 部活動の指導に地域の指導者がかわることについてどう思いますか。

より専門的な指導者(教員も含む)から学べる方法
生徒の移動距離をなるべく少なくできる方法
長期的な視野で持続可能な方法

令和10年 新人戦終了後から「拠点球方式」での部活動の実施へ

拠点球方式とは…

- 深谷市を東西南北に区切り、それぞれのブロックに各活動の拠点球を設置 ※ 運営に関する詳細は検討中
【北ブロック】明戸・豊里・深谷 【東ブロック】幡羅・上柴 【西ブロック】南・岡部 【南ブロック】藤沢・川本・花園 ※予定
- 中学校体育連盟の大会(学校総合体育大会や新人体育大会)には、**拠点球部活動として参加**
【これまで】○○中・サッカー部 ⇒ 【これから】深谷市北ブロックサッカー部(仮称)
- 休日の活動は**拠点球方式**での活動とし、各拠点球等を活動場所として実施 ⇒ 教員や地域の指導者が指導 (より専門的な指導)
- 平日は、**基本的に自分の学校でトレーニング的な活動**を実施 ⇒ 教員が安全指導を実施
- 年間を通して休日の活動を実施してきた文化部についても、「拠点球方式」での実施について検討中

令和10年新人戦後 活動単位:各ブロック

それぞれのブロックで活動 ⇒ 大会参加

スケジュール

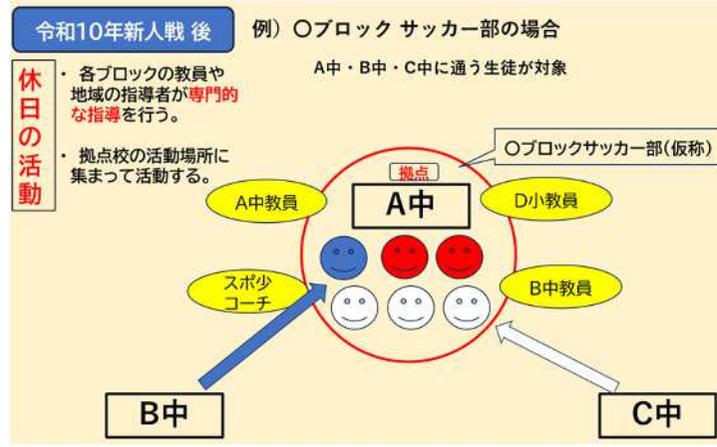
| 学校単位の部活動 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 |
|------------------|-------|--------|--------|
| 学校単位の部活動 | 実施 | 実施 | 実施 |
| 複数校単位の部活動(拠点球方式) | 実施 | 実施 | 実施 |

令和8年3月号の「教育委員会だより」で家庭・地域に周知

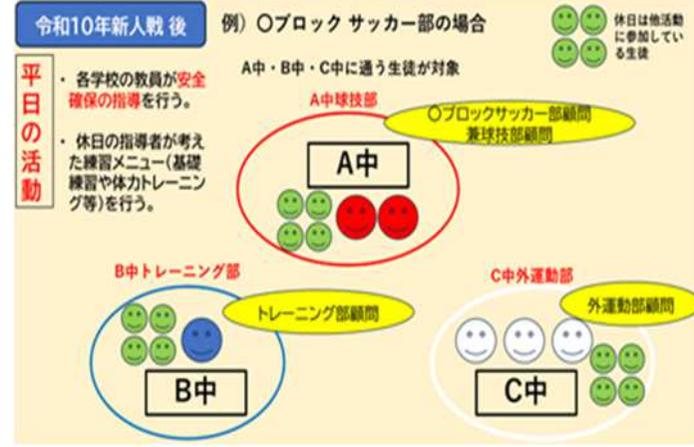
拠点球方式とは…



休日(専門的指導)



平日(トレーニング)



ご清聴ありがとうございました

